

キューバ共和国
技術協力プロジェクト
自由流通米証明種子の生産システムの強化
実施協議調査団報告書

平成 19 年 12 月

(2007 年)

独立行政法人 国際協力機構

農村開発部

農村

JR

07-049

**キューバ共和国
技術協力プロジェクト
自由流通米証明種子の生産システムの強化
実施協議調査団報告書**

平成 19 年 12 月
(2007 年)

独立行政法人 国際協力機構
農村開発部

序 文

国際協力機構は、キューバ国政府の要請を受け、平成 19 年 3 月にキューバ国技術協力プロジェクト「自由流通米証明種子の生産システムの強化」に関する事前調査を実施し、その調査結果を踏まえて、平成 19 年 11 月 11 日から 11 月 26 日まで、中米カリブ地域支援事務所次長上條直樹を団長とする実施協議調査団を現地に派遣しました。

同調査団は、キューバ国関係者と実施のための協議を行い、討議議事録（R/D）、プロジェクトデザインマトリックス PDM、実施計画書（PO）の署名交換を行いました。その結果、本プロジェクトを平成 20 年 3 月から 3 年間の計画で実施することになりました。

本報告書は、同調査団による協議結果を取りまとめたものであり、今後、本プロジェクトの実施にあたり広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、心より感謝の意を表します。

平成 19 年 12 月

独立行政法人国際協力機構
農 村 開 発 部
部 長 小 原 基 文

目 次

序 文
目 次
写 真
地 図
略語一覧

第 1 章	実施協議調査団の派遣	1
1-1	調査団派遣の経緯と目的	1
1-2	調査団の構成	1
1-3	調査日程	2
1-4	主要面談者	2
第 2 章	要約	4
2-1	プロジェクトの概要	2
2-2	ミニッツの概要	5
第 3 章	討議議事録の交渉経緯	6
3-1	訪問記録	6
3-2	プロジェクト実施に関する討議経緯	10
第 4 章	団長所感	14
付属資料		15
1	討議議事録：R/D（英文、西文）	17
2	ミニッツ（英文、西文）	53

写 真



IIArroz 事務所



IIArroz 内の耐性試験室



IIArroz 内の種子バンク



ETIA (Sur del Jibaro)

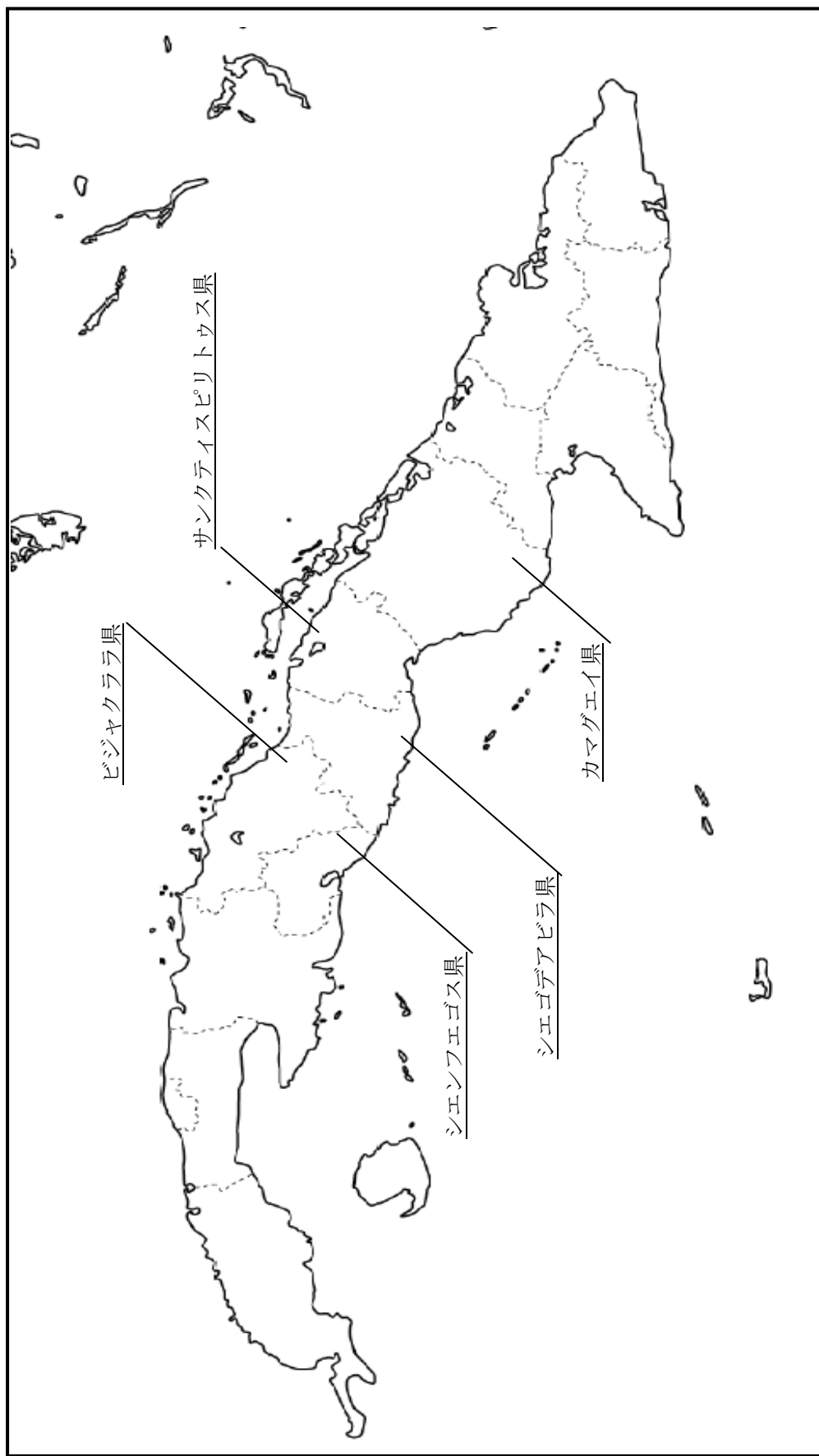


ETIA 内の原種保管倉庫



R/D 署名

プロジェクト対象地域（中部5県）



略 語 表

略 語	西 語	英 語	日本語訳
CCS	Cooperativas de Créditos y Servicios	Cooperatives of Credit and Service	信用サービス協同組合
CPA	Cooperativas de Producción Agropecuaria	Cooperatives of Agricultural Production	農牧業生産協同組合
EMED	Empresa Ejectiva de Donativo		
ETIA	Estación Territorial de Investigaciones del Arroz	Regional Research Station of Paddy Rice	地域稲作試験場
IIArroz	Instituto de Investigaciones del Arroz	Rice Research Institute	稲作研究所
MINAG	Ministerio de la Agricultura	Ministry of Agriculture	農業省
MINVEC	Ministerio para la Inversión Extranjera y la Colaboración Económica	Ministry of Foreign Investment and Economic Cooperation	外国投資経済協力省
SICS	Sistema de Inspección y Certificación de Semilla	System of Inspection and Certification Seeds	種子検定証明システム

第 1 章 実施協議調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

キューバ共和国（以降「キューバ国」とする）は、面積 110,861km²（日本の 0.29 倍）、人口 1,130 万人（2003 年）。一人当たり GDP は 1,700 米ドル（1999 年）である。

キューバ国の農地面積は 370 万 ha（2001 年）、農業就業人口は約 77 万人（14%、2001 年）、農業部門は GDP の 6.3%（サービス部門 65%、製造部門 17%、2002 年）、輸出に占める農産物の割合は 44%（2001 年）である。サトウキビ栽培の優れたポテンシャルを有することから、植民地時代からサトウキビ生産を中心としたモノカルチャー構造が作り上げられてきた。このため、主要穀物の自給率は 23%と低く、主食である米についても消費量の約 65%を輸入している。

米の増産と安定供給による食糧安全保障の確立は国家の最優先課題となっている一方で、社会主義圏の崩壊に伴い、大量の肥料や農薬の散布に依存した技術体系による大規模生産に支障を来し、総生産量が減少した。このような状況を背景にキューバ政府は 1996 年から小規模生産者によるいわゆる自由流通米の増産プログラムを開始し、しょうきぼ生産者への支援を行なってきた。これに関連して、稲作面積の 4 割を占める中央地域 5 県において小規模稲作の生産性向上を目的として、我が国に対し技術協力を要請し、これを受けて我が国は、2003 年度から開発調査「キューバ国中央地域における持続的稲作技術開発計画」を行い中部 5 県の自由流通米生産増のためのアクションプランの策定を支援した。同開発調査の結果、自由流通米生産における証明種子の利用率が約 27%（2003 年推定値）と低いことから、生産拡大には地域特性に適した優良品種の導入が急務で、かつ速効性が期待できることが明らかとなった。また、優良品種の導入に不可欠な証明種子の普及のための種子の生産・配布システムの強化が必要とされ、本件への早期取り組みが、開発調査の提言に基づくアクションプランの最重要課題と考えられている。

上記開発調査結果を踏まえてキューバ国政府は、中央地域 5 県における自由流通米の証明種子の生産とその普及のためのプロジェクトを早期に立ち上げたいとして、我が国に対し技術協力を要請した。

2007 年 3 月に事前調査団を派遣し、要請内容の確認、プロジェクト基本計画（案）の策定を行うとともに、プロジェクト実施に関する各種手続きにつき確認し、その結果をミニッツに取りまとめ書名・交換を行った。

今回調査は、上述の事前調査の結果に基づき、キューバ国政府関係者とプロジェクト実施の最終的な協議を行い、討議議事録（Record of Discussion : R/D）ならびにプロジェクトデザインマトリックス（PDM）および実施計画（PO）を含むミニッツを作成し、署名・交換を行うことを目的として派遣された。

1-2 調査団の構成

- (1) 総括 上條 直樹 JICA 中米カリブ地域支援事務所 次長
- (2) 協力企画 鈴木 央 JICA 農村開発部 畑作地帯第一チーム 職員

(3) 通訳 島崎 マリ

(現地参团) 都築ひろみ JICA キューバ派遣専門家

1-3 調査日程

	日付	総括：上條直樹	協力計画：鈴木 央	通訳：島崎マリ
1	11月11日 日		13:35 サントドミンゴ発 CU201 15:00 キューバ着	同左
2	11月12日 月		10:00 JICA派遣専門家打ち合わせ 11:00 在キューバ日本国大使館表敬 14:00 MINVEC協議	同左
3	11月13日 火		09:30 農業省協議 14:00 稲作研究所視察・協議	同左
4	11月14日 水		10:30 漁業省・水産研究センター協議	同左
5	11月15日 木		サンタクララへ移動(陸路) 13:00 地域稲作試験場視察・協議	同左
6	11月16日 金		カマグエイへ移動(陸路) 12:00 水産試験場調査・協議 (サンタクルスデスル)	同左
7	11月17日 土		カマグエイ→ハバナ(陸路)	同左
8	11月18日 日	08:10 メキシコ発 MX323便 11:50 ハバナ着 団内打ち合わせ	資料整理 団内打ち合わせ	同左
9	11月19日 月	09:00 R/D協議(農業省) 13:30 R/D協議(MINVEC) 15:30 R/D協議(漁業省)	同左	同左
10	11月20日 火	09:00 R/D協議(農業省) 13:30 R/D協議(MINVEC) 15:30 R/D協議(漁業省)	同左	同左
11	11月21日 水	09:00 R/D協議(農業省) 13:30 R/D協議(MINVEC) 15:30 R/D協議(漁業省)	同左	同左
12	11月22日 木	09:00 R/D協議(農業省) 13:30 R/D協議(MINVEC、EMED) 15:30 R/D協議(漁業省) 17:00 大使館報告	同左	同左
13	11月23日 金	11:00 R/D署名(農業省、MINVEC) 14:00 R/D署名(漁業省、MINVEC) 16:00 JICA派遣専門家報告	同左	同左
14	11月24日 土	12:50 ハバナ発 MX332便 14:40 メキシコ着	同左	資料整理
15	11月25日 日		08:50 メキシコ発 JL5781便 09:50 ロサンゼルス着 11:55 ロサンゼルス発 JL061便	08:55 ハバナ発 CU200便 12:05 サントドミンゴ着
16	11月26日 月		16:40 成田着	

1-4 主要面談者

(1) 農業省

Lic. Maria Antonia Fernandez Martinez 国際部長

Ing. Serafin Fernandez Roche 国際部

(2) 稲研究所

Ing. Jorge Luis Hernandez Concepcion 所長

Ing. Enrique Juarez 育種部

MSc. Telce Andel Gonzalez Morera 開発部

(3) MINVEC

Sr. Raul Torres Perez
Sr. Jorge Fernando Crespo

アジア・中東・大洋州局長
日本担当官

(4) 在キューバ日本大使館

高松 明
川真田 一穂
大野 正義

大使
公使
一等書記官

第2章 要約

本実施協議調査団は、2007年11月11日から同25日までキューバ国に滞在し技術協力プロジェクト「自由流通米証明種子の生産システムの強化」の実施について、農業省及び稲研究所などなど関係機関と協議した。

調査団は、事前調査（2007年3月）の結果に基づく協力基本計画及び実施計画（PO）をキューバ国側と協議した結果、討議議事録（R/D）及びミニッツ（PDM及びPOを含む）の署名・交換を行った。

協議結果の合意されたプロジェクトの概要、及びミニッツの概要は以下のとおりである。

2-1 プロジェクトの概要

(1) スーパーゴール

国内の自由流通米の生産量が増加する。

(2) 上位目標

小規模農家が優良稲種子*を使う。

(3) プロジェクト目標

登録種子が計画的に配布される。

(4) 成果

- 1) 魅力的な品種の登録種子の生産・配布がより計画的になる。
- 2) 登録種子の生産が増加し、より入手し易くなる。
- 3) 品種に関する知識が改善する。

(5) 活動

- 1.1. 米の品種の需要について基礎調査を行う。
- 1.2. 小規模でより需要に応じた品種の証明種子を生産するための登録種子生産・配布計画をつくる。
- 2.1. 登録種子の品質について基礎調査を行う。
- 2.2. 登録種子生産について技術マニュアルを作成する。
- 2.3. 稲作研究所（地域稲作試験場も含む）の研究者に研修を行う。
 - A 収穫とポストハーベスト（原原種・原種・登録種子）
 - B 栽培管理（原原種・原種・登録種子）
- 2.4. 上記種子生産・配布計画に基づいて、原原種・原種・登録種子の生産を行う。
- 2.5. 上記登録種子生産・配布計画に基づいて、登録種子を農業共同組合生産基礎組織、各郡種子生産者に配布する。
- 3.1. 稲作研究所が推奨する品種について技術的な情報を作成する。
- 3.2. 農業共同組合生産基礎組織、各郡種子生産者に対して稲作研究所が推奨する品種についての研修と情報提供を行う。

2-2 ミニッツの概要

(1) PDM および PO

暫定的な PDM と PO を M/M に添付する。最終版は専門家が到着後に MINAG と協議の上作成し、合同調整委員会で審議され承認を受けるものとする。

(2) SICS

プロジェクトにおいて生産される種子は SICS の検定を受けることとなるため、SICS とプロジェクトの円滑な連携を図る必要がある。

(3) 資機材

プロジェクトコストは日本側および MINAG の双方で負担する。後者については内貨で支出できないもの、例えば燃料、外国から輸入する資機材や部品などがあげられるが、これらについても支出可能となるように努力はする。

(4) 旅費

日当と宿泊の全額支出は難しいが、食事および移動手段の提供は可能である。ただし、宿泊施設の提供はできない。なお、通勤にかかる移動手段は MINAG の方法に従って提供する。

(5) プロジェクト事務所の場所

MINAG はプロジェクトオフィスを稲研究所内に設置する。

(6) A1 フォーム

MINAG は専門家要請用の A1 フォームを 2007 年 12 月下旬までに MINVEC を通じて、日本側に正式要請する。なお、写しは JICA キューバ専門家（都築氏）を通じて JICA メキシコ事務所に送付することとする。

(7) 免税特権など

- ① 専門家の家財・所有物の持ち込み：専門家一人（家族分を含む）につき 1 回の免税申請を認める。申請が 1 回であれば分割しての持ち込みも可能。
- ② 車の持ち込み：上記の家財・所有物とは別に専門家一人につき車 1 台の持ち込みも免税を認める。なお、手続きは EMED が行う。
- ③ 車の現地調達：専門家が車を現地調達する場合は、EMED を通じて免税で調達できる。
- ④ 1 住民証・労働許可証：専門家のキューバ滞在が 90 日を超える場合は住民証・労働許可証を取得する必要がある。
- ⑤ マルチビザ：マルチビザの申請はキューバ入国前でも入国後でも可能。ただし、その取得には 60 日間を要する。

第3章 討議議事録の交渉経緯

3-1 訪問議事録

(1) MINVEC (11月12日)

冒頭、ホルヘ氏より MINVEC の業務の概要の説明、および JICA の支援についての謝辞が述べられ、続いて鈴木より今回の調査概要について説明を行うとともに、今回の協議の主なポイントを提示し意見交換を行った。概要以下のとおり。

<マルチビザの発給>

キューバ国のマルチビザは、事例ごとに審査し発給可否を決定する。発給の承認は、申請者が近隣諸国にプロジェクトを持っているなど、業務上頻繁にキューバ国外に出国する場合に限られる。マルチビザの申請にあたっては、マルチビザが必要な理由を添えて申請して欲しい。

また、マルチビザはキューバ国内で取得するのみならず、日本出発前に申請し取得しておくことも可能である。

マルチビザの発給に関しては、MM に残すことを想定していると伝えたところ、キューバ国側からは、MM に残すことが可能かどうか検討しておくとの回答あり。

<専門家の所有物持ち込みに係る免税特権の付与>

キューバ国の法律によれば、専門家の入国時に1回だけ免税が認められることになっている。そのため、荷物の持ち込みの免税特権に有効期間を設け、たとえば赴任後ある一定の期間内に持ち込んだものは免税とするなどということは現状では難しい。所有物持込の免税にかかる手続きや必要書類などについては、担当の部署に確認の上で後日回答したい。

<プロジェクト機材の調達について>

プロジェクト機材の調達手続きや必要書類についても、確認の上で後日回答する。

キューバでは、機材を国外に発注する場合も、国内で調達する場合も、MINVEC の下部機関の EMED を通じて実施することになる。プロジェクトで機材を調達する際には、MINVEC、EMED、プロジェクト C/P 機関、JICA の4者からなる調達委員会が設置され審査を行うことになる。詳しい話は、EMED から直接聞けるよう打ち合わせの場を来週にアレンジする。

<その他>

- ・ 来週の19日と20日には Director de Medio, Oriente y Oceania の Raul Torres Perez 氏も同席する予定である。
- ・ サイナーは MINVEC の副大臣とすることで調整を行う。
- ・ 日本との政策協議が今週開催予定であり、プロジェクトの関係することも協議される可能性がある。

(2) MINAG (11月13日)

冒頭、鈴木より今回の調査概要について説明を行った後に、マリア氏から調査団に歓迎の意が表されるとともにキューバの農業省の現状についての説明があった。

引き続き、鈴木から来週の協議での主なポイントを提示し、意見交換を行った。概要は以下のとおり。

< 専門家の移動手段の確保 >

専門家への移動手段の提供については、JICA から供与された車両を含め IIArroz 所有の車両をその都度提供できるとの回答あり。

ただし、供与を受けた車両は非常によく活用されているため、パーツ交換等のメンテナンスが必要となってきた。そのメンテナンス費用は外貨で支出必要があるが、外貨は農業省の管轄外であり支出が難しい。そのため JICA のフォローアップ協力の申請を検討しており、都築さんともこれまで相談してきている。

< プロジェクトの経常経費のキューバ側による負担 >

プロジェクトは持続可能性が重要である点は、キューバ側でも認識しており、プロジェクトの運営管理にかかる経費は内貨で対応可能な部分はキューバ側で負担していくこととしたい。

また、国際協力によってもはじめたプロジェクトは、その後キューバ国内のプロジェクトとして引継ぎ、予算も確保して続けていく予定である。実際、開発調査で提案された9つの提案についても、キューバ側の国内のプロジェクトとして位置づけフォローしている。

< キューバ側で支出が難しい予算 >

内貨で対応できず、キューバ側で支出が難しい品目については、来週の協議において調査団に提示する。

< その他 >

- ・ 米はキューバ国民の食糧事情を支える重要な農産物であるため、今回のプロジェクトには期待している。
- ・ キューバでは科学技術へのアクセスが限られており、2003年にEUが支援を打ち切ったため、現在は日本が唯一の支援国である。
- ・ プロジェクト PDM の変更を要望する文書を先週提出したが、これについては来週の協議で調整したい。
- ・ 専門家の赴任にあたっては、はじめはお互いがお互いの文化の違いにとまどうかもしれないが、受け入れるキューバ側でも専門家が快適に活動できるよう最大限の努力をしたい。

(3) IIArroz (11月13日)

冒頭、先方よりキューバの米生産の概要についての説明があり、続いて鈴木より今

回の調査概要について説明を行った。

その後、IIArroz の施設や活動を視察した。

開発調査で供与した機材は、種子選別機に一部不具合が出ていたものの、おおむね状態は良好であり、かつよく活用されていることが伺えた。

先日農業省から提出された PDM の内容変更に関し、指標の数値については専門家が赴任してから改めて設定することを当方から提案したところ、先方の了解を得た。また、先方からは、今回設定した数値はデータに基づいており、次週の協議においてそれらのデータを紹介したいとの提案があった。

(4) ETIA Sur del Jibaro

Sur del Jibaro の ETIA の事業等についての説明を受けた後、試験場内を視察した。概要は以下のとおり。

< ETIA Sur del Jibaro 事業概要 >

- (1) シエンフエゴ、ヴィジャクララ、シエゴデアピラ、サンクティスピリトゥスの 4 県（技プロ対象の中央 5 県のうちのカマグエイ以外）を担当。総スタッフ数は 50 名、うち研究者は 14 名。100ha の圃場を有し、うち 47ha を稲作に使用している。
- (2) Sur del Jibaro の ETIA は、大きくはアドミ部門と技術部門に分かれており、技術部門はさらに「遺伝改良」「農芸化学」「防除」「技術情報」の 4 つのセクションにわかれる。
- (3) 現在の主な取り組みは次のとおり。
 - ・ 栽培コストやリスクの低減
 - ・ ストレス耐性の遺伝子型の調査
 - ・ 種子生産
 - ・ 土壌保全・改良
 - ・ 肥料・農薬試験
 - ・ 雑草（赤米）管理試験
 - ・ 栽培技術の普及の効率化
 - ・ 小規模生産者のための技術開発
 - ・ 灌漑・排水技術改良
 - ・ 土地の均平化
- (4) Sur del Jibaro の ETIA での種子生産は、原種と登録種子の生産を行っている。品種としては、reforma と Cuba31 と Cuba32 の 3 品種を扱っている。なお、前回の生産実績は原種 3 トンのみで、登録種子生産は行わなかった。
- (5) 技術普及としては以下の取り組みを行っている。
 - ・ 研修
 - ・ 品種の育成状況を地域ごとに比較
 - ・ 新品種の導入

- ・普及研修教材の作成
 - ・ラジオ、テレビ、新聞などへの番組・記事の提供
- (6) 業務上の障害は次のとおり。

- ・機材不足：機械を使えない作業工程は手作業となるため、生産量が限られる。また、乾燥も天日乾燥を行っているため、天候に左右され計画通りに乾燥できない。結果として需要を満たす種子生産を達成できていない。
- ・現在の倉庫は温度・湿度管理ができないため、種子保存に適していない。
- ・現状の保有機材では均平化が難しく、生産性が低い。
- ・パソコンやプロジェクターなど、教材作成や研修用の機材不足
- ・輸送手段、移動手段不足

<既存のマニュアル>

技術マニュアルとしては「稲作 ABC」や「自由流通米マニュアル」を作成した。これまでに作成したマニュアルは、開発調査で作成したものも含め 3 種類あるが、いずれも資金不足で印刷・製本には至っていない。これまでの研修では、マニュアルの中の必要箇所を抜き出し、必要部数を印刷して使用してきた。

<技術普及用のラジオ番組>

番組名はミクヌク。農業技術を普及するための 1 時間の番組で、稲作はそのうちの 5 分程度。台本などがあるわけではなく、ETIA スタッフが生産者とで出演し、その季節に合ったテーマの質疑応答をする形で技術情報を提供している。

<種子生産システム>

原原種の生産は 2 段階からなり、第一段階で耐性試験による選抜を行い、第二段階で育成状況の均一性から選抜を行う。原原種の生産はおおむね 5 年に一回行われる。

原種は原原種から生産するが、その生産量は毎年 11 月から 12 月頃に開催する委員会で決定される。

なお、IIArroz 本部では原原種と原種を生産、IIArroz の農場では登録種子を生産、ETIA では原種と登録種子を生産している。

米種子は優良農家を通じて農民にも配布されることになる。サンクティスピリツス県内の優良農家数は 2006 年は 42 軒、2007 年は 39 軒だった。2008 年は 52 軒にしたい。

<開発調査実証試験のその後の経過>

(1) ルベンのエリア

品種バンクを実施し、5 品種を生産中。収量試験も reforma と Cuba32 で実施し、結果は 5 トン/ha であった。

(2) イレニのエリア

8 ～ 9 品種を生産中。収量は 4 ～ 5 トン/ha。

(3) 供与機材

おおむね順調に活用されている。

刈り取り機は使用しているが、刈り取り時に稲を束ねる紐がなくなった。
乾燥機は、燃料の灯油が高価であるため、電気式に改造して使用している。
脱穀機はローラーに不具合が出たが、工夫して使っている。

3-2 プロジェクト実施に係る討議経緯

(1) MINVEC (11月19日～22日)

<マルチビザ>

マルチビザについては、その必要性が確認できれば、専門家に対し発給できる。これまでには、中米カリブ地域に複数のプロジェクトを持っているカナダやヨーロッパのNGOに対して発給した実績がある。申請から取得には60日かかるが、キューバ赴任前、赴任後のいずれの場合でも申請可能である。なお、キューバ赴任までの期間が60日に満たない場合でもマルチビザの事前申請は可能であり、申請から60日後にキューバで発給されることとなる。ただし、入国時には別途入国ビザを取る必要がある。

<入国ビザ>

活動期間が3カ月未満の専門家は、通常の入国ビザの取得のみを行えばよく、労働許可証や住民証を取得する必要はない。この入国ビザの有効期限は1か月間だが、2回更新ができる。

<専門家への免税特権の付与>

専門家個人の所有物・家財道具の持ち込みにあたっての免税特権は、その家族を対象に1回に限って申請が可能である。なお、申請が1回であれば、複数回に分けてキューバ内に持ち込むこともできる。その手続きはEMEDが担当する。

また、車の持ち込みは、所有物・家財道具の持ち込みとは別に免税措置を受けられる。車を持ち込まず、キューバ国内で専門家が車を調達する場合でも、EMEDを通じてフリーゾーンで購入可能であるため、実質免税措置を受けられることになる。

<プロジェクト機材>

キューバ国政府とプロジェクト実施にかかる合意文書を交わしたプロジェクトについては、プロジェクト機材の免税措置を受けられる。

プロジェクト機材の調達、輸入も国内調達もその手続きもEMEDが担当する。その調達にあたっては必要な情報(機材の重量、容積、スペックなど)を事前にMINVECを通じてEMEDに通知する必要がある。なお、調達時のコンサイニーはEMEDになる。

EMEDは公正な調達手続きを確保するための、MINVEC傘下の機関であり、複数社からの見積もり取り付け、入札を含む一連の調達手続きを取り行う。調達先の決定は、EMED、MINVEC、実施省庁からなる調達委員会による審査により行われる。

<免税措置を受けた物品・機材の売却>

専門家の帰任時やプロジェクト終了時に免税措置を受けた物品・機材を売却する場合は、その売却時に税金が課せられる。ただし、専門家間、またはプロジェクト間の

譲渡・売却については、課税の対象とはならない。

<キューバ国側省庁によるプロジェクト経費負担>

各省庁がプロジェクト関連予算の外貨分を財務省に申請することは可能だが、その申請が承認される可能性は低い。ただし、プロジェクト終了後その活動はキューバ国側の責任において継続されるため、その継続に必要な外貨が実施省庁に割り当てられることとなる。

<RD 上で解釈の違いが発生した場合>

RD 上に解釈の違いが発生した場合には、調停等に持ち込まず、友好的に解決することとする。

(2) 農業省（11月19日～22日）

<プロジェクトタイトル>

原原種、原種、登録種子は証明種子の一カテゴリーであり、今回プロジェクトが支援する種子生産システムは、「証明種子生産システム」の一部であるため、タイトルは「証明種子の生産システムの強化」とする。

<プロジェクトの裨益者>

今回のプロジェクトの裨益者となる種子生産者は、CCS や CPA に所属している。裨益者をより明確にするために、CCS と CPA の名称を PDM 上に明記する。ただし、CCS と CPA の数は全国に合わせて 2500 以上あることから、そのすべてを対象とはせず代表的な CCS と CPA を適当な数だけ抽出する。

また成果 3 については、プロジェクト全体の進捗に支障のない範囲で普及員と SICS 検査員も活動の対象に加える。

<地域稲作試験場>

稲作研究所の傘下の 3 つの ETIA では、全国に供給する原種を種類毎にそれぞれ分担して生産している。しかしながら、プロジェクト対象地区の中央 5 県の外に位置するグランマの ETIA は、プロジェクト事務所を構える稲研究所から距離があるため、今回のプロジェクトではまずは稲研究所から近いほうの 2 カ所の ETIA を対象とし、グランマの ETIA は含めない。

なお、農業省としては、各地で生産される米の種子は、それぞれの地域で生産できる仕組みを構築したいと考えている。しかし現状では農業省の地方の種子生産体制や能力がそれに伴わないため、全国に供給する種子を種類毎に 3 つの ETIA で分担して生産している。

<スーパーゴール>

自由流通米が増産は、米全体の生産量増加にも資する。しかしながら、自由流通米とならんでキューバ国の米生産の大きな割合を占める特殊米の今後の生産量の動向を

予測することが難しい。そのため、PDM 上のスーパーゴールは、米全体の生産量増加ではなく、自由流通米の生産量増加とする、

<上位目標の指標>

上位目標の指標は生産者数と耕作面積で表現し得るが、生産量へのインパクトをより反映できる耕作面積を指標とする。

<PDM の数値目標>

PDM の数値目標は、プロジェクト専門家派遣後にキューバ国側と協議の上で決定する。

<収穫後処理能力および輸送能力>

キューバ国側の保有する機材の収穫後処理能力と輸送能力は、米種子生産システムを強化する上で改善する必要の高い課題であるが、今回のプロジェクトではインフラ整備よりも技術面の強化に重点をおくこととし、右 2 課題はその現状維持を外部条件として位置付ける。

しかしながら、その改善の必要性は高いため、プロジェクト活動と並行してキューバ側が改善に努めることとした。

<短期専門家の専門分野>

短期専門家の専門分野は、プロジェクトの進捗やそのときのニーズに合わせて対応できるよう RD には明記しないが、現時点で投入が想定される専門分野は「種子生産」「農業機械」「灌漑」「研修」など。

<機材の導入>

今回先方から、(大型) 機材の導入の要望が強くあげられたが、これら機材のメンテナンスは外貨による対応となり、プロジェクト終了後の持続発展性に影響しかねないことから導入はできるだけ控えることとした。また、本プロジェクトでは技術面の強化に重点をおくこととし、筑波センター所管の国別研修「小規模稲作技術」を通じて紹介してきた「簡易な農機具・機材」の導入を積極的に図ることとした。

<キューバ国側の予算負担>

内貨で対応できる予算は農業省が対応する。外貨で対応しなければならない部分についても、農業省で対応するよう努めるが、困難な場合はプロジェクト予算で対応することとする。輸入機材調達やそのメンテナンス、インターネット接続などが外貨対応となる (E-mail は内貨対応)。

<旅費>

出張時の旅費は、移動手段および昼食は提供可能だが、宿泊費の支出は難しい。

<プロジェクトダイレクター>

プロジェクトダイレクターについては、農業省から GAIA の Presidente とすることを提案されたが、業務内容とその重要性から副大臣をプロジェクトダイレクターとしてもらえるよう当方から要請し、現在農業省内で調整を行っている。

なお GAIA とは、キューバ全体の米生産を統括する農業省傘下の組織である。本プロジェクトの C/P 機関となる稲研究所は、予算や計画上の指揮命令系統では科学技術局の下部組織となるが、米生產業務においては GAIA の管理下に入りそのすべての活動において GAIA の承認を受ける必要がある。なお、中央省庁には「米」という特定の作目を対象とする部署はない。

また、副大臣は、科学技術局および GAIA の直近の上位ポストにあたる。

< 県レベルでの活動のモニタリング >

プロジェクトでは、JCC とステアリングコミッティを設置することとしたが、これとは別にキューバ国側が独自に各県での米生産事業をモニタリングするための委員会を設置することとなった。本委員会は以前実施した開発調査時にも県ごとに設置されていた。

第4章 団長所感

キューバ国側にとって実質的に最初の本格的技術協力プロジェクトとなるが、調査団への対応につき最大限の協力を行った点は、評価できる。免税、特権免除、滞在条件など専門家の滞在や機材供与に関する諸条件等も徐々に明らかになり、今後さらに技術協力事業実施の基礎的条件確保は進展するものと思われる。

自由流通米、海水魚養殖ともキューバ国側による将来的な全国規模の事業展開への布石としての意味を持つが、キューバ国側の人材、組織的な能力を考えると、十分なフォローアップは可能なものと思われる。

一方、プロジェクトの実施の実際に関し、特に実施の初期の段階においては、協力プロジェクト受け入れの経験が浅い点、社会・経済制度の特殊性、事業実施の物理的環境等に十分考慮しつつ、柔軟に対応するなど配慮することも必要かと思われる。

付 属 資 料

1. 討議議事録：R/D（英文、西文）

2. ミニッツ（英文、西文）

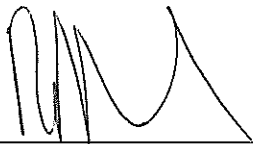
RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
MINISTRY OF AGRICULTURE AND MINISTRY OF FOREIGN INVESTMENT
AND ECONOMIC COOPERATION OF REPUBLIC OF CUBA
ON TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT
FOR
REINFORCEMENT OF CERTIFIED SEED PRODUCTION SYSTEM
FOR POPULAR RICE
IN THE REPUBLIC OF CUBA

The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Naoki KAMIJO, visited the Republic of Cuba (hereinafter referred to as “Cuba”) from 11 November 2007 to 26 November 2007 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Project for Reinforcement of Certified Seed Production System for Popular Rice in the Republic of Cuba.

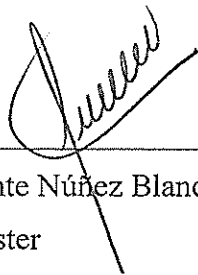
During its stay in the Republic of Cuba, the Team exchanged views and had a series of discussions with Cuban authorities corresponding to Ministry of Agriculture (hereinafter referred to as “MINAG”) and Ministry of Foreign Investment and Economic Cooperation (hereinafter referred to as “MINVEC”) with respect to desirable measures to be taken by JICA and MINAG and MINVEC for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Cuban authorities, MINAG and MINVEC, agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

This text is written in English and Spanish, both of which are equally official. The English text shall prevail in case of any divergence of interpretation.

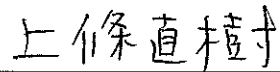


Mr. Ramón Ripoll Díaz
First Vice Minister
Ministry of Foreign Investment and
Economic Cooperation
Republic of Cuba



Mr. Inocente Núñez Blanco
Vice Minister
Ministry of Agriculture
Republic of Cuba

Havana, 23 November 2007



Mr. Naoki KAMIJO
Leader
Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency

ATTACHED DOCUMENT TO THE RECORD OF DISCUSSIONS

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND MINISTRY OF AGRICULTURE AND
MINISTRY OF FOREIGN INVESTMENT AND ECONOMIC COOPERATION

1. MINAG and MINVEC will implement the Project for Reinforcement of Certified Seed Production System for Popular Rice (hereinafter referred to as “the Project”) in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, JICA will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as “the Equipment”) necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The Equipment will become the property of the MINAG upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Cuban authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation in the territory of the Republic of Cuba.

3. TRAINING OF CUBAN PERSONNEL IN JAPAN AND/OR IN OTHER
COUNTRIES

JICA will receive the Cuban personnel connected with the Project for technical

training in Japan and/or other countries.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY MINAG AND MINVEC

1. MINAG and MINVEC will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. MINAG and MINVEC will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Cuban nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of Cuba.
3. MINAG and MINVEC will ensure granting in Cuba privileges, exemptions and benefits as listed in Annex IV and will ensure granting privileges, exemptions and benefits to the experts and their families no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions referred to in II-1 above.
4. MINAG and MINVEC will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.
5. MINAG and MINVEC will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Cuban personnel from technical training in Japan and/or other countries will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in Cuba, the MINAG will take necessary measures to provide at its own expense :
 - (1) Services of the Cuban counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex V.

RR M

WU

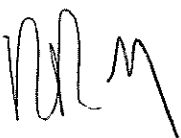
- (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex VI;
- (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project including the Equipment provided by JICA under II-2 above ;
- (4) Existing transport facilities, travel allowances for the Japanese experts for official travel within Cuba and the office for Japanese experts and
- (5) Assistance to find suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.

7. In accordance with the laws and regulations in force in Cuba, MINAG will take necessary measures to meet :

- (1) Expenses necessary for transportation within Cuba of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof.
- (2) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

8. In accordance with the laws and regulations in force in Cuba, MINVEC will take necessary measures as follows :

- (1) To guarantee free of any charges on transfer as well as utilization of funds introduced into Cuba from Japan in connection with the implementation of the Project.
- (2) To provide all the necessary facilities for the implementation of the Project in accordance with the legislation and regulation regarding to international cooperation in force in Cuba.
- (3) To provide the service of EMED, authorized by Customs for imports of the products and material from overseas as well as for the local procurement and contracts
- (4) To take responsibility with obtaining the exemptions corresponding to custom duties and any other charges, which could be imposed in Cuba on the equipment referred to in II-2 above
- (5) To provide all the necessary facilities in accordance with the legislation in force in Cuba to process the visa requests for the personnel dispatched for



the Project. The period of stay in Cuba of the personnel mentioned above will be determined according to the requirements of the Project.

- (6) Supervision of the Project during its implementation.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Vice Minister of MINAG, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Director of Rice Research Institute (hereinafter referred to as "IIArroz"), as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Team Leader will provide the necessary recommendations and advice to MINAG, and the Project Director on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Cuban counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of the technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee and a Steering Committee will be established. Their functions and composition are described in Annex VII and VIII respectively.

V. JOINT EVALUATION

The evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Cuban authorities, MINAG and MINVEC, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement based on the 5 pre-established criteria (relevance, effectiveness, efficiency, impact and



sustainability).

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

MINAG and MINVEC undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Cuba except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the MINAG and MINVEC on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document. In case of any divergence of interpretation and implementation of these documents, both sides will settle them in amicable manner.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Cuba, MINAG and MINVEC will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Cuba.

IX. TERM OF COOPERATION

The Project will have an estimated duration of three years, starting from the date of dispatch of the first expert, whose arrival is foreseen in March, 2008.



ANNEX I MASTER PLAN
ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS



ANNEX III	LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
ANNEX IV	PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS
ANNEX V	LIST OF CUBAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
ANNEX VI	LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
ANNEX VII	JOINT COORDINATING COMMITTEE
ANNEX VIII	STEERING COMMITTEE

DR M

DR

ANNEX I
MASTER PLAN

- I. Super Goal
The national production of Popular Rice increases.
- II. Overall Goal
The popular rice farmers (in the small scale) use high quality seeds.
- III. Project Purpose
Registered seeds are distributed based on the formulated plan.
- IV. Project Outputs
1. Production and Distribution plan of the registered seeds of attractive varieties is formulated.
 2. Production of the registered seeds and their accessibility increase.
 3. Necessary knowledge of varieties is disseminated.
- V. Activities
- 1.1. To conduct baseline survey on the demand of rice varieties
 - 1.2. To formulate the production and distribution plan of registered seeds for the use of the certified seed production, based on the demand of the small scale farmers' rice production
 - 2.1. To conduct baseline survey on the quality of registered seeds
 - 2.2. To prepare the technical manual of registered seed production
 - 2.3. To provide trainings to the researchers of Rice Research Institute (IIArroz) (including Regional Research Station of Paddy Rice (ETIA))
 - A. Harvest and Post Harvest (original, basic, registered seeds)
 - B. Cultivation management (original, basic, registered seeds)
 - 2.4. To produce the original, basic and registered seeds based on the production plan formulated above
 - 2.5. To distribute the registered seeds to Basic Unit of Production Cooperative

RAM

MR

and Seed Production Farmers of Cooperatives of Credit and Services (CCS) and Cooperative of Agricultural Production (CPA), based on the distribution plan formulated above

- 3.1. To prepare the technical information on the varieties recommended by Rice Research Institute
- 3.2. To provide the trainings and technical information on the varieties recommended by Rice Research Institute to Basic Unit of Production Cooperative, Seed Production Farmers (CCS and CPA), extension officers and inspectors of System of Inspection and Certification of Seed (SICS)

VI. Target Area

Five (5) central provinces (Cienfuegos, Villa Clara, Sancti Spiritus, Ciego de Avila and Camaguey)

VII. Target Group

IIArroz, ETIAs(Sancti Spiritus y Camaguey), UBPCs, Seed Production Farmers of CCS and CPA

ANNEX II

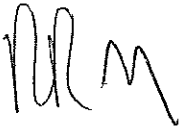
LIST OF EXPERTS

1. Long- term Experts

Chief Advisor/Rice Production

2. Short-Term Expert(s)

Short-Term Expert will be dispatched in the related field of the Project, according to its, implementation plan.



ANNEX III

LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Machinery, equipment and other materials necessary for the effective implementation of the Project will be provided by JICA within budgetary limitations.

PRM

MC

ANNEX IV

LIST OF PRIVILEGES, IMMUNITIES EXAMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS


I. Exemption from income tax and charge of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad, which will be requested to Minister of Finance and Prices of the Republic of Cuba as established by the Law No. 73 in 1994

II. Exemption from import duties and any other charges in respect of personal and household effects including one motor vehicle per expert which may be brought into Cuba from abroad, as established by the Resolutions No. 58/15.12.97, No. 43/07.12.98 and No. 302/03.07.02 of the Ministry of Finance and Prices of the Republic of Cuba.

Exemption of taxes on internal transport and documents associated with the import of the vehicle mentioned above will be requested to the Minister of Finance and Prices of the Republic of Cuba as established by Law No. 73 of 1994

III. In the case of accident or emergency, MINAG and MINVEC will extend assistance with all the available means to obtain the medical and other necessary assistance to the Japanese experts and their families.

IV. To grant visa of entrance to and departure from the country, by means of request, to the Japanese experts and their families, free of charges related to procedure. In case of multiple visa, the Japanese side will provide the appropriate justification for its issuing.

 V. Expedition of the cards of identification for the Japanese experts and their families to assure that they obtain the cooperation of Cuban governmental organizations for the fulfillment of their duties.

ANNEX V

LIST OF CUBAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Counterpart personnel
 - (1) Project Director
The Vice Minister of MINAG
 - (2) Project Manager
The Director of IIArroz
 - (3) Counterpart personnel in IIArroz and ETIA
 - Rice Cultivation
 - Seed Production
 - Agriculture Machinery
 - Other necessary counterparts

2. Administrative Personnel
 - (1) Administrative staff
 - (2) Secretaries/Typists
 - (3) Drivers
 - (4) Other necessary support staff

RRM

MA

ANNEX VI

LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, buildings and facilities necessary for the Project
2. Rooms and space necessary for installation, operation and storage of the equipment and materials in case JICA provides
3. Office space and necessary facilities for experts and counterpart personnel
4. Lecture rooms and meeting rooms when necessary
5. Electricity, water supply, air-conditioning and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services
6. Other facilities mutually agreed upon, if necessary

RR M

RR

ANNEX VII

JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will be held at least once a year or whenever the necessity arises and will carry out the following work;

- (1) Discuss and decide overall strategies in the management and coordination of the Project,
- (2) Review and endorse the annual plan of the Project,
- (3) Monitor and evaluate the progress of the Project, and
- (4) Make decisions relevant to the overall management of the Project.

.

2. Composition

(1) Chairperson:

The Vice Minister of MINAG (Project Director)

(2) Vice-Chairman

Director of International Relations of MINAG

(3) Members of Cuban Side:

- President of GAIA
- Director of the IIArroz
- Representative of the Ministry of Foreign Investment and Economic Cooperation (hereinafter referred to as "MINVEC")
- Representative of International Relations of MINAG
- Representative of Science and Technology of MINAG
- Representative of GAIA
- Representative of the SICS
- Representative of other organizations collaborating with the Project
- Other personnel concerned, to be assigned by Cuban side, if necessary

Members of the Japanese Side:

- Representative of JICA Mexico Office
- Japanese Experts Team
- Expert on Coordination of Technical Cooperation
- Other personnel concerned, to be assigned by JICA, if necessary

NOTE:

1. Official(s) of the Embassy of Japan in the Republic of Cuba may attend as observer(s).
2. Person who is designated by the Chairperson may attend the JCC meeting.

RLM

WR

ANNEX VIII

STEERING COMMITTEE

1. Function

- (1) To command the progress of the project activities in site level,
- (2) To formulate and review the annual plan of operation,
- (3) To exchange views and ideas on major issues arising from or in connection with the Project,
- (4) To discuss, concerning the Project operations, any necessary matters that require consensus of the members, and
- (5) To enforce collaboration with related organizations.

2. Composition

(1) Chairman

Director of the IIArroz

(2) Vice-Chairman

Deputy Director of Research of IIArroz

(3) Members

Cuban side:

Head of Department of Improvement of Genetic and Seed of IIArroz

Head of Department of Development of IIArroz

Head of Germplasm Bank of IIArroz

Representative of the National Group of Popular Rice Production

Representative of authorities related with the Project in the target area of the Project

Representatives of other institutions concerned

Counterpart Personnel

Japanese side:

JICA expert(s) for the Project



NOTE:

1. Person who is designated by the Chairperson may attend the Steering Committee meeting.

REGISTRO DE DISCUSIONES
ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON
Y
EL MINISTERIO DE LA AGRICULTURA Y EL MINISTERIO PARA LA
INVERSIÓN EXTRANJERA Y LA COLABORACIÓN ECONÓMICA DE LA
REPÚBLICA DE CUBA
SOBRE LA COOPERACION TECNICA PARA EL PROYECTO DE
FORTALECIMIENTO DEL SISTEMA DE PRODUCCION DE SEMILLAS
CERTIFICADAS PARA EL ARROZ POPULAR
EN LA REPUBLICA DE CUBA

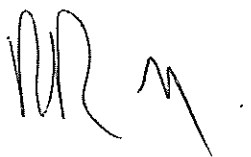
El Equipo del Estudio de Implementación (que en lo adelante se llamará “el Equipo”) de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón, (que en lo adelante se llamará "JICA"), presidido por el Sr. Naoki KAMIJO, fue enviado a la República de Cuba desde el 11 al 26 de noviembre del 2007, con el propósito de elaborar detalles de la cooperación técnica sobre el Proyecto para el “Fortalecimiento del sistema de producción de semillas certificadas para el Arroz Popular en la República de Cuba”.

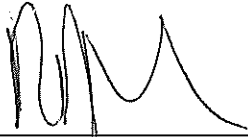
Durante su estadía en la República de Cuba, el Equipo tuvo una serie de discusiones sobre el Proyecto e intercambió diferentes puntos de vista con las autoridades correspondientes del Ministerio de la Agricultura (en lo adelante MINAG) y del Ministerio para la Inversión Extranjera y la Colaboración Económica (en lo adelante MINVEC), respecto a las medidas necesarias que deben ser tomadas por JICA, el MINVEC y el MINAG para la adecuada implementación del Proyecto arriba mencionado.

Como resultado de las discusiones, el Equipo y las autoridades del MINAG y el MINVEC acordaron recomendar a sus respectivos gobiernos los asuntos referidos en el documento adjunto.

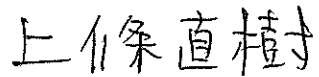
Este texto está escrito en inglés y español. Ambas versiones son igualmente oficiales. El texto en inglés prevalecerá en caso de que surja alguna divergencia de interpretación.

La Habana, 23 de noviembre del 2007





Sr. Ramón Ripoll Díaz
Viceministro Primero
Ministerio para la Inversión
Extranjera y la Colaboración Económica
de la República de Cuba



Sr. Naoki KAMIJO
Jefe del Equipo del Estudio de
Implementación
Agencia de Cooperación Internacional de
Japón



Sr. Inocente Núñez Blanco
Viceministro
Ministerio de la Agricultura
de la República de Cuba

DOCUMENTO ADJUNTO AL REGISTRO DE DISCUSIONES

I. COOPERACION ENTRE LA JICA, EL MINISTERIO DE LA AGRICULTURA Y EL MINISTERIO PARA LA INVERSIÓN EXTRANJERA Y LA COLABORACIÓN ECONÓMICA.

1. El MINAG y el MINVEC implementarán el Proyecto “Fortalecimiento del sistema de producción de semillas certificadas para el Arroz Popular en la República de Cuba” (en adelante se denominará “el Proyecto”) a través de la cooperación con la JICA.
2. El Proyecto será implementado de acuerdo con el Plan Maestro, que se detalla en el ANEXO I.

II. MEDIDAS QUE SERAN TOMADAS POR LA JICA

De acuerdo con las leyes y regulaciones vigentes en Japón, la JICA tomará a su propio costo, las siguientes medidas, de acuerdo a los procedimientos normales del esquema de la cooperación técnica de la JICA.

1. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

La JICA proveerá los servicios de los expertos japoneses según se señala en el Anexo II.

2. SUMINISTRO DE EQUIPOS

La JICA proveerá los equipos y materiales (que en lo adelante se llamarán “los Equipos”) necesarios para la ejecución del Proyecto según lo estipulado en el Anexo III. Los Equipos se convertirán en propiedad del MINAG, una vez que hayan sido entregados (CIF) a las autoridades cubanas correspondientes en los puertos y/o aeropuertos de desembarque en el territorio de la República de Cuba.

3. ENTRENAMIENTO DEL PERSONAL DE LA REPÚBLICA DE CUBA EN JAPON Y/O EN OTROS PAISES

La JICA recibirá al personal de la República de Cuba relacionado con el Proyecto para realizar entrenamiento técnico en Japón y/o en otros países.

III. MEDIDAS A SER TOMADAS POR EL MINAG Y EL MINVEC.

1. El MINAG y el MINVEC tomarán las medidas necesarias para asegurar que el Proyecto opere por si mismo, de modo que sea sostenible durante y después del

periodo de la cooperación técnica japonesa, a través de la participación completa y activa de todas las autoridades cubanas competentes, grupos e instituciones beneficiarias.

2. El MINAG y el MINVEC asegurarán que las tecnologías y conocimientos adquiridos por el personal cubano, como resultado de la cooperación técnica japonesa, contribuyan al desarrollo económico y social de la República de Cuba.
3. El MINAG y el MINVEC velarán por que se concedan, en Cuba, los privilegios, exoneraciones y beneficios detallados en el Anexo IV, y velarán por que se conceda a los expertos japoneses y sus familiares referidos en la cláusula II-1, los privilegios, exoneraciones y beneficios no menos favorables que aquellos otorgados a expertos de terceros países y organizaciones internacionales que desempeñan misiones similares a los mencionados expertos japoneses.
4. El MINAG y el MINVEC asegurarán que los equipos indicados en la cláusula II-2 sean utilizados efectivamente para la ejecución del Proyecto, en consulta con los expertos mencionados en el Anexo II.
5. El MINAG y el MINVEC tomarán las medidas necesarias para asegurar que los conocimientos y experiencias adquiridos por el personal cubano durante su entrenamiento técnico en Japón y/o en otros países, se utilicen efectivamente en la ejecución del Proyecto.
6. De acuerdo a las leyes y regulaciones vigentes en la República de Cuba, el MINAG tomará las medidas necesarias para proveer al Proyecto, a su propio costo, de lo siguiente:
 - (1) Servicios del personal contraparte cubano y personal administrativo, según lo estipulado en el Anexo V;
 - (2) Terrenos, edificios y facilidades según lo estipulado en el Anexo VI;
 - (3) Suministro o reposición de maquinarias, equipos, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y cualquier otro material necesario para la ejecución del Proyecto, en adición a aquellos suministrados por la JICA, tal y como se establece en la cláusula II-2.
 - (4) Facilidades de transporte con los vehículos existentes, viáticos a los expertos japoneses para sus viajes oficiales dentro de Cuba y oficinas para los expertos

RRM

M

japoneses.

(5) Asistencia en la búsqueda de viviendas adecuadamente amuebladas para los expertos japoneses y sus familiares.

7. De acuerdo a las leyes y regulaciones vigentes en la República de Cuba, el MINAG tomará las medidas necesarias para satisfacer lo siguiente:

(1) Los gastos de transporte dentro de la República de Cuba de los Equipos referidos en la cláusula II-2, así como su instalación, operación y mantenimiento, y

(2) Gastos operativos que requiera la ejecución del Proyecto.

8. De acuerdo a las leyes y regulaciones vigentes en la República de Cuba, el MINVEC tomará las siguientes medidas:

(1) Garantizará la transferencia libre de impuestos del fondo del Proyecto y su utilización para la implementación del mismo.

(2) Brindará todas las facilidades para la ejecución del proyecto, en el marco de la legislación y las disposiciones cubanas vigentes respecto a la colaboración internacional.

(3) Ofrecerá los servicios de la Empresa Ejecutora de Donativos (EMED), acreditada ante la aduana, para realizar los trámites de importación y extracción de los productos e insumos importados. Asimismo, brindará los servicios de procuración y contratación para los suministros que puedan adquirirse a nivel local.

(4) Se responsabilizará con la obtención de las exenciones correspondientes a gastos por derecho de aduana y otros cargos de cualquier naturaleza, exigibles en Cuba, sobre los Equipos referidos en la cláusula II-2.

(5) Ofrecerá todas las facilidades de acuerdo a la legislación vigente en Cuba para la tramitación de las solicitudes de visa que requiera el personal de la contraparte extranjera que viaje a Cuba para atender la marcha del proyecto. La permanencia de dicho personal estará en función de los requerimientos del proyecto.

(6) Realizará supervisiones y controles al proyecto durante su ejecución.

IV. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

1. El Viceministro de MINAG, en su calidad de Director General del Proyecto, tendrá la máxima responsabilidad en la administración y ejecución del Proyecto.

2. El Director del IIArroz en su calidad de Gerente General del Proyecto, será responsable de los asuntos administrativos y técnicos del Proyecto.

3. El Asesor Principal de los expertos japoneses hará las recomendaciones y

sugerencias necesarias al MINAG y al Director del Proyecto en cualquier asunto relacionado con la ejecución del Proyecto.

4. Los expertos japoneses darán la asesoría técnica necesaria al personal contraparte cubano, sobre asuntos técnicos relacionados con la ejecución del Proyecto.
5. Para la ejecución efectiva y exitosa de la cooperación técnica para el Proyecto, se establecerá el Comité de Coordinación Conjunta y el Comité de Ejecución del Proyecto, cuyas funciones y composición están dentro de los Anexos VII y VIII, respectivamente.

V. EVALUACION CONJUNTA

La evaluación del Proyecto será realizada conjuntamente por la JICA y las autoridades del MINAG y el MINVEC a la mitad del período de cooperación, así como en los últimos seis (6) meses del mismo, a fin de verificar el nivel de avance basándose en los cinco criterios preestablecidos (relevancia, impacto, efectividad, eficacia y sustentabilidad).

VI. RECLAMACIONES A LOS EXPERTOS JAPONESES

El MINAG y el MINVEC se harán responsables de las reclamaciones, si surgiera alguna, en contra de los expertos japoneses involucrados en la cooperación técnica para el Proyecto, si estas se originasen como resultado del cumplimiento de sus deberes, o con relación a hechos acaecidos durante dicho cumplimiento en la República de Cuba, salvo en los casos en que dichas reclamaciones sean fruto de alguna grave negligencia o mala conducta intencional por parte de dichos expertos.

VII. CONSULTA MUTUA

Se realizará consulta mutua entre la JICA, el MINAG y el MINVEC, sobre cualquier asunto de importancia que pudiese surgir, de o en conexión con el presente Documento Adjunto. En el caso de diferencias en la interpretación y la ejecución del presente documento, las partes las solucionarán amigablemente.

VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER EL ENTENDIMIENTO Y APOYO AL PROYECTO

Con el propósito de promover el apoyo de la República de Cuba, el MINVEC y el MINAG tomarán las medidas adecuadas para que el Proyecto sea conocido ampliamente por la población cubana.



IX. TÉRMINOS DE LA COOPERACION

El Proyecto tendrá una duración estimada de 3 años a partir del envío del primer experto , cuya fecha prevista es marzo de 2008.

ANEXO I: PLAN MAESTRO DEL PROYECTO

ANEXO II: LISTA DE EXPERTOS

ANEXO III: LISTA DE MAQUINARIAS, EQUIPOS Y OTROS MATERIALES

ANEXO IV: LISTA DE PRIVILEGIOS, EXENCIONES Y BENEFICIOS DE LOS
EXPERTOS JAPONESES

ANEXO V: LISTA DE PERSONAL ADMINISTRATIVO Y DE CONTRAPARTE
CUBANA

ANEXO VI: LISTA DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES

ANEXO VII: COMITE DE COORDINACION CONJUNTA

ANEXO VIII: COMITE DE EJECUCION DEL PROYECTO

RAM

MK

ANEXO I: PLAN MAESTRO DEL PROYECTO

I. Objetivo global

Incremento de la producción nacional de Arroz Popular.

II. Objetivo superior

Los productores de Arroz Popular (pequeña escala) utilizan semillas de calidad.

III. Objetivo del Proyecto

Semillas registradas son distribuidas de acuerdo con el plan elaborado.

IV. Resultados del Proyecto

1. Plan de producción y distribución de semillas registradas de variedades atractivas.
2. Aumento de producción y disponibilidad de semillas registradas.
3. Conocimiento necesario sobre las variedades es difundido.

V. Actividades

- 1.1. Estudio básico sobre la demanda de variedades.
- 1.2. Elaborar plan de producción y distribución de las semillas registradas para producción de semillas certificadas, de acuerdo con la demanda de los productores de pequeña escala.
 - 2.1. Estudio básico sobre la calidad de semillas registradas.
 - 2.2. Elaborar guía técnica sobre la producción de semillas registradas.
 - 2.3. Capacitación del personal de IIArroz (incluyendo ETIAs)
 - A. Cosecha y pos-cosecha (semillas originales, básicas y registradas).
 - B. Manejo de cultivo (semillas originales, básicas y registradas).
 - 2.4. Producir semillas originales, básicas y registradas de acuerdo con el plan elaborado.
 - 2.5. Distribuir las semillas registradas a UBPC y productores de semillas (CCS y CPA) de acuerdo con el plan elaborado.
- 3.1. Elaborar información técnica sobre las variedades recomendadas por IIArroz.
- 3.2. Capacitar y divulgar información sobre las variedades recomendadas por IIArroz a las UBPCs, productores de semillas (CCS y CPA), extensionistas e inspectores del SICS.

VI. Area meta

5 provincias centrales (Cienfuegos, Villa Clara, Sancti Spiritus, Ciego de Avila y

Camaguey)

VII. Grupo meta

II Arroz, ETIAs (Sancti Spiritus y Camaguey), UBPCs, Productores líderes de semillas de CCS y CPA.

MRM

MR

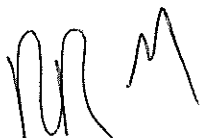
ANEXO II: LISTA DE EXPERTOS

I. Experto por largo plazo

Asesor Líder/Producción del arroz

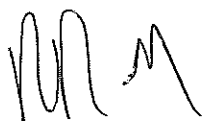
II. Expertos por corto plazo

Los expertos por corto plazo en temas relacionados con el Proyecto serán enviados según el programa para la implementación del mismo.



ANEXO III: LISTA DE MAQUINARIAS, EQUIPOS Y OTROS MATERIALES

Maquinaria, equipos y otros materiales necesarios para la implementación efectiva del proyecto, los cuales serán suministrados por JICA dentro del límite presupuestario.



ANEXO IV: LISTA DE PRIVILEGIOS, EXENCIONES Y BENEFICIOS DE LOS EXPERTOS JAPONESES

- I. Exenciones de impuestos sobre la renta y cargo de cualquier naturaleza exigibles sobre o en relación con fondos remitidos del exterior, las cuales serán solicitadas al Ministro de Finanzas y Precios de la República de Cuba a tenor de lo establecido en la Ley No. 73 de 1994.
- II. Exenciones de los derechos aduaneros y cualquier otro cargo con respecto a efectos personales (incluido un vehículo por experto) y de hogar que traiga a la República de Cuba desde el exterior, en correspondencia con lo establecido en las Resoluciones No. 58/15.12.97, No. 43/07.12.98 y No. 302/03.07.02 del Ministerio de Finanzas y Precios de la República de Cuba.

Las exenciones del Impuesto sobre Transporte Terrestre, así como del Impuesto sobre Documentos, vinculadas con la importación del vehículo referido, serán solicitadas al Ministro de Finanzas y Precios de la República de Cuba a tenor de lo establecido en la Ley No. 73 de 1994.

- III. En caso de accidente o emergencia, el MINVEC y el MINAG prestarán toda la asistencia necesaria, empleando todos los medios a su alcance, para obtener o brindar la asistencia médica o de otra índole, necesaria para los expertos y sus familias.
- IV. Otorgar visa de entrada y salida del país, mediante solicitud, a los expertos japoneses y sus familias, libre de cargos originados por procedimiento. En el caso de la visa múltiple, la parte japonesa proporcionará la fundamentación adecuada para dicha solicitud.
- V. Expedición de carnés de identificación para los expertos japoneses y sus familias para asegurar que ellos obtengan la cooperación de organizaciones gubernamentales de la República de Cuba para el cumplimiento de sus deberes.

MR M

NZ

ANEXO V: LISTA DE PERSONAL ADMINISTRATIVO Y DE CONTRAPARTE
CUBANA

1. Personal Contraparte

(1) Director General del Proyecto

Viceministro del MINAG

(2) Gerente General del Proyecto

Director de IIArroz

(3) Personal contraparte de IIArroz y ETIA

- Cultivo de arroz

- Producción de semilla de arroz

- Maquinaria agrícola

- Otros necesarios

2. Personal Administrativo

(1) Empleados Administrativos

(2) Secretaria/Mecanógrafas

(3) Conductores

(4) Otros empleados de soporte necesarios

ANEXO VI: LISTA DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES

1. Terreno, edificios e instalaciones necesarias para el Proyecto.
2. Habitaciones y espacio necesario para la instalación, operación y almacenamiento de equipo y materiales en caso de que JICA provea materiales.
3. Espacio de oficina e instalaciones necesarias para expertos y el personal de contraparte.
4. Instalaciones para realizar conferencias y/ o reuniones, cuando sea necesarios.
5. Electricidad, agua potable, aire acondicionado y equipos de telecomunicación. necesarios, incluyendo teléfono, fax y correo electrónico.
6. Otras facilidades a las cuales se llegue a un acuerdo, si es necesario.

MR M

WZ

ANEXO VII: COMITE DE COORDINACION CONJUNTA

1. Facultades

El Comité de Coordinación Conjunta (CCC) será convocado al menos una vez al año y cuantas veces sean necesarias y realizará las siguientes actividades:

- (1) Discutir y decidir las estrategias generales para el manejo y la coordinación del Proyecto.
- (2) Revisar y aprobar el Plan Anual de Operaciones del Proyecto.
- (3) Monitorear y evaluar el avance del Proyecto, y
- (4) Tomar decisiones relacionadas con el manejo general del Proyecto.

2. Composición

(1) Presidente

Viceministro del MINAG

(2) Vice-Presidente

Directora de la Dirección de Relaciones Internacionales del MINAG

(3) Miembros de la parte cubana:



- Presidente del GAIPA
- Director del II Arroz
- Representante del Ministerio para la Inversión Extranjera y la Colaboración Económica (se referirá como MINVEC en adelante)
- Representantes de la Dirección de Relaciones Internacionales del MINAG
- Representantes de la Dirección de Ciencia y Tecnología del MINAG
- Representantes del GAIPA
- Representantes del SICS
- Representantes de las organizaciones que colaboran con el Proyecto
- Otras personas asignadas por la parte cubana

Miembros de la parte japonesa:

- Representante de la Oficina de JICA en México
- Experto(s) de la JICA para el Proyecto
- Experta en coordinación de la cooperación técnica
- Otras personas asignadas por JICA

Nota:

1. Funcionario(s) de la Embajada de Japón en la República de Cuba podrá(n) asistir como observador(es).



2. Persona(s) designada(s) por el Presidente podrá(n) asistir a la reunión del CCC.

RM

RM

ANEXO VIII: COMITE DE EJECUCION DEL PROYECTO

1. Facultades

- (1) Dirigir el avance de las actividades del Proyecto en el área de ejecución.
- (2) Formular y revisar el Plan Anual de Operaciones.
- (3) Intercambiar puntos de vista y opiniones sobre asuntos importantes que surjan en la ejecución del Proyecto y/o en relación con el mismo.
- (4) Discutir cualquier asunto necesario relacionado con la ejecución del Proyecto y que requiera un acuerdo de los miembros.
- (5) Fortalecer la colaboración de otras organizaciones relacionadas.

2. Composición:

- (1) Presidente

Director del II Arroz

- (2) Vice-Presidente

Subdirector de Investigación del II Arroz

- (3) Miembros

Parte cubana:

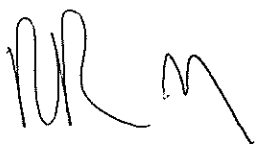
- Jefe del Departamento de Mejoramiento Genético y Semilla del II Arroz.
- Jefe del Departamento de Desarrollo del II Arroz
- Jefe del Departamento de Banco de Germoplasma del II Arroz
- Representantes del Grupo Nacional de Producción Popular del Arroz
- Representantes de las autoridades relacionadas con el Proyecto en el Area Meta del Proyecto
- Representantes de otras instituciones participantes.
- Personal de Contrapartes

Parte japonesa

- Experto(s) de la JICA para el Proyecto.

Nota:

1. Persona(s) designada(s) por el Presidente podrá(n) asistir a la reunión del Comité de Ejecución del Proyecto.



MINUTES OF MEETINGS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE MINISTRY OF AGRICULTURE AND THE MINISTRY OF FOREIGN
INVESTMENT AND ECONOMIC COOPERATION
OF THE REPUBLIC OF CUBA
ON THE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR REINFORCEMENT OF CERTIFIED SEED PRODUCTION SYSTEM
FOR POPULAR RICE
IN THE REPUBLIC OF CUBA

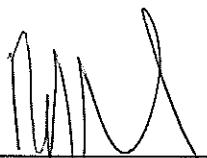
The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as “the Team”) of the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) on technical cooperation for the Project for Reinforcement of Certified Seed Production System for Popular Rice (hereinafter referred to as “the Project”), organized by JICA headed by Mr. Naoki KAMIJO, was dispatched to the Republic of Cuba from November 11 to November 26, 2007, for the purpose of working out the details of the Project..

During its stay, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Cuban authorities concerned in respect of the measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, JICA and the Cuban authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto. These Minutes of Meeting are considered as a supplement document of the Record of Discussions which is signed on the same date.

This text was written in English and Spanish, with each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

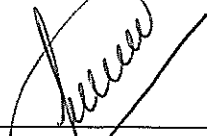
Havana, November 23, 2007



Mr. Ramón Ripoll Díaz
First Vice Minister
Ministry of Foreign Investment and
Economic Cooperation
of the Republic of Cuba



Mr. Naoki KAMIJO
Leader
Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency



Mr. Inocente Núñez Blanco
Vice Minister
Ministry of Agriculture
of the Republic of Cuba

ATTACHED DOCUMENT TO THE MINUTES MEETING

1. The Project Title

The title will be "Project for Reinforcement of Certified Seed Production System for Popular Rice in the Republic of Cuba"

2. The Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO)

Tentative Project Design Matrix and Plan of Operation are attached to this document (ANNEX I and II). Once the Japanese expert arrives to Cuba, these documents will be finalized after the discussion between the expert and MINAG, afterward submitted to and authorized by the Joint Coordinating Committee.

3. System of Inspection and Certification of Seeds (SICS)

Since the seeds produced in the Project are subject to inspection and certification by SICS, it is essential to establish the effective and efficient collaboration between the Project and SICS.

4. Purchase of materials by National Currency (MN)

Both sides will bear the necessary cost for the implementation of the Project. It is difficult for Cuban side to purchase items such as fuel, and the imported equipment, materials and spare parts by National Currency, however MINAG will make an effort to assume its part as much as possible.

5. Expense of travel

It is difficult for MINAG to bear all the expense covering the meals and accommodation for the official travel of Japanese experts. However, the provision of the lunches and the means of transport will be available. On the other hand, the means of daily transport to and from the Project office for the Japanese experts will be provided by MINAG

6. Location of the Project Office

MINAG will prepare the Project Office in IIArroz.

7. Request for the Expert (A-1 Form)

MINAG will submit to the Government of Japan the official request to dispatch the first Japanese expert through MINVEC by the end of December 2007. The copy of this Form will be sent to JICA Mexico Office through the expert of coordination of JICA technical cooperation. in Cuba.

8. Administration of Project

The assignment of Project Director is under consideration by the Cuban side (MINAG). Present proposal on this issue could be subject to modification.

9. Privilege of Tax Exemption

Cuban side (MINVEC) confirmed the following matters in accordance with the laws and regulations in force in Cuba

- Application is allowed once for the exemption of the Cuban custom duties on the personal and household effects belonging to the expert and his/her family. These effects can be transported to Cuba in several shipments, covered by the above mentioned application.
- Each expert can apply for the exemption of custom duties on the importation of one vehicle, separately from the importation of the personal and household effects. This application and importation should be handled by EMED.
- In the case of the local procurement of a vehicle, the expert will purchase one imported by EMED through the In Bond Area without any duties and taxes.
- The expert who will stay less than 90 days in the country doesn't need to apply for the residence card and work permission.
- The expert can apply the multiple visa before or after his/her arrival to Cuba. The visa will be issued 60 days after the date of application.

ANNEX1 Tentative Project Design Matrix

ANNEX2 Tentative Plan of Operation

Project Design Matrix (PDM)

Date of preparation: 23 Nov 2007
(Version 1-7)

Project Title: The Project for Reinforcement of Certificated Seed Production System for Popular Rice

Project period: Three (3) years

Target Area: Five (5) central provinces

Target Group: Rice Research Institute (IIARroz), Regional Research Station of Paddy Rice (ETIAs Sancti Spiritus and Camaguey), Basic Unit of Production Cooperative (UBPC), Seed Production Farmers of Cooperatives of Credit and Services (CCS) and Cooperatives of Agricultural Production (CPA)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><u>Super Goal</u> The national production of Popular Rice increases.</p>			
<p><u>Overall Goal</u> The Popular Rice farmers (in the small scale) use high quality seeds.</p>	<p>(XX) % of the Popular Rice area in 5 targeted provinces that will be sowed with Certified seed II or high quality seeds generated from Certified seed II</p>	<p>-Report on high quality seed production</p>	<p>-Enormous plagues and diseases do not occur -Adequate management fertility is conducted. -Level of self-seed-Production skill is maintained.</p>
<p><u>Project Purpose</u> Registered seeds are distributed based on the formulated plan.</p>	<p>(XX) tons of (XX) varieties of registered seeds for the production of Certified seeds are distributed to Basic Unit of Production Cooperative and Seed Production Farmers in 5 targeted provinces by the end of the project.</p>	<p>-Report on seed production -Survey report</p>	<p>The policy to encourage increasing popular rice production is maintained.</p>
<p><u>Outputs</u> 1. Production and Distribution plan of the registered seeds of Attractive varieties is</p>	<p>1.1. Production and Distribution plan of the (XX) varieties of registered seeds is formulated based on the demand by</p>	<p>1. Production and Distribution plan of the registered seeds.</p>	<p>-Selling price of certified seeds is maintained at adequate level.</p>

<p>formulated.</p> <p>2. Production of the registered seeds and their accessibility increase.</p> <p>3. Necessary knowledge of varieties is disseminated.</p>	<p>Rice Research Institute and Regional Research Station of Paddy Rice by the end of the project.</p> <p>2.1 Production of original, basic and registered seeds for 5 central provinces increase to (XX) tons at Rice Research Institute by the end of the Project.</p> <p>2.2 Production of basic and registered seeds increase for 5 central provinces to (XX) tons at Regional Research Station of Paddy Rice by the end of the Project.</p> <p>2.3 (XX) varieties of basic and registered seeds are inspected and certified by System of Inspection and Certification Seeds.</p> <p>2.4 (XX) tons of (XX) varieties of registered seeds are distributed to Basic Unit of Production Cooperative and Seed Production Farmers in 5 targeted provinces by the end of the project.</p> <p>3.1 Knowledge level of Basic Unit of Production Cooperative and Seed Production Farmers on (XX) varieties of rice is improved in 5 targeted provinces by the end of the project.</p> <p>3.2 Trainings are provided (XX) times to Basic Unit of Production Cooperative and Seed Production Farmers, extension officers and inspectors of SICS in 5 targeted provinces by the end of the project.</p> <p>3.3 (XX) of Training Materials are distributed to Basic Unit of Production Cooperative and Seed Production Farmers, extension officers and inspectors of SICS in 5 targeted</p>	<p>2. Technical survey.</p> <ul style="list-style-type: none"> -Statistic information -Statistics on the production of original, basic and registered seeds -Record of System of Inspection and Certification Seeds on production, inspection and certification <p>3. Technical survey</p> <ul style="list-style-type: none"> -Training records -Extension records -Interview 	<p>-Rice price does not decrease considerably.</p> <p>-The actual capacity of transportation of seeds is maintained.</p>
---	--	---	--

2

<p><u>Activity</u></p> <p>1.1. To conduct baseline survey on the demand of rice varieties</p> <p>1.2. To formulate the production and distribution plan of registered seeds for the use of the certified seed production, based on the demand of the small scale farmers' rice production</p> <p>2.1. To conduct baseline survey on the quality of registered seeds</p> <p>2.2. To prepare the technical manual of registered seed production</p> <p>2.3. To provide trainings to the researchers of Rice Research Institute (including Regional Research Station of Paddy Rice)</p> <p>A. Harvest and Post Harvest (original, basic, registered seeds)</p> <p>B. Cultivation management (original, basic, registered seeds)</p> <p>2.4. To produce the original, basic and registered seeds based on the production plan formulated above</p> <p>2.5. To distribute the registered seeds to Basic Unit of Production Cooperative and Seed Production Farmers (CCS and CPA), based on the distribution plan formulated above</p> <p>3.1. To prepare the technical information on the varieties recommended by Rice Research Institute</p> <p>3.2. To provide the trainings and technical information on the varieties recommended by</p>	<p>provinces by the end of the project.</p> <p><u>Inputs</u></p> <p>Cuba</p> <p>-Counterpart personnel</p> <p>-Office</p> <p>-Existing vehicles</p> <p>-Existing facilities</p> <p>-Budget for administration</p>	<p>Japan</p> <p>-Expert(s)</p> <p>-Equipment</p> <p>-JICA Training</p>	<p>- The treatment capacity of postharvest seeds is maintained.</p> <p>- Natural disasters do not occur.</p>
<p><u>Pre-conditions</u></p> <p>System of Inspection and Certification Seeds works in collaboration with the project</p>			

DR

2

M

				Rice Research Institute to Basic Unit of Production Cooperative, Seed Production Farmers (CCS and CPA), extension officers and inspectors of SICS
--	--	--	--	---

M

M

Project Name: The Project for Reinforcement of Certified Seed Production System for Popular Rice

Project Area: Five (5) central provinces, Republic of Cuba

Target Group: Rice Research Institute (IIArroz), Regional Research Station of Paddy Rice (ETIA), Basic Unit of Production Cooperative (UBPC), Seed Production Farmers (CCS and CPA)

Duration: Mar 2008-Nov 2010

Version 1-7

UP DATED : 23/11/2007

ACTIVITIES	Note	08			09			10			Person in charge	Implementer	Materials	cost
		1	2	3	4	5	6	7	8	9				
OUTPUT1: Production and Distribution plan of the registered seeds of Attractive varieties is formulated.														
1.1. To conduct baseline survey on the demand of rice varieties														
1.2. To formulate the production and distribution plan of registered seeds for the use of the certified seed production, based on the demand of the small scale farmers' rice production														
OUTPUT2: Production of the registered seeds and their accessibility increase.														
2.1. To conduct baseline survey on the quality of registered seeds														
2.2. To prepare the technical manual of registered seed production														
2.3. To provide trainings to the researchers of Rice Research Institute (including Regional Research Station of Paddy Rice)														
A. Harvest and Post Harvest (original, basic, registered seeds)														
B. Cultivation management (original, basic, registered seeds)														
2.4. To produce the original, basic and registered seeds based on the production plan formulated above														
2.5. To distribute the registered seeds to UBPCs and Seed Production Farmers (CCS and CPA) based on the distribution plan formulated above														
OUTPUT3: Necessary knowledge of varieties is disseminated.														
3.1. To prepare the technical information on the varieties recommended by Rice Research Institute														
3.2. To provide the trainings and technical information on the varieties recommended by Rice Research Institute to UBPCs, Seed Production Farmers (CCS and CPA), extension officers and Inspectors of SICS														

[Handwritten signatures]

ACTA DE DISCUSION
ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON
Y
EL MINISTERIO DE LA AGRICULTURA Y EL MINISTERIO PARA LA
INVERSIÓN EXTRANJERA Y LA COLABORACIÓN ECONÓMICA DE LA
REPÚBLICA DE CUBA
SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA PARA
EL PROYECTO DE
FORTALECIMIENTO DEL SISTEMA DE PRODUCCIÓN DE SEMILLAS
CERTIFICADAS PARA EL ARROZ POPULAR
EN LA REPUBLICA DE CUBA

El Equipo de Estudio de Implementación (referido en lo adelante como "el Equipo") de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (referido en lo adelante como "JICA") sobre la cooperación técnica para el Proyecto de Fortalecimiento del Sistema de Producción de Semillas Certificadas para el Arroz Popular en la República de Cuba (referido en lo adelante como "el Proyecto"), presidido por el Sr. Naoki KAMIJO, fue enviado a la República de Cuba desde el 11 al 26 de noviembre del 2007, con el propósito de precisar los detalles para la implementación del Proyecto.

Durante su estadía, el Equipo intercambió puntos de vista y sostuvo una serie de discusiones con las autoridades cubanas pertinentes respecto a las medidas a ser tomadas por ambos Gobiernos para la implementación exitosa del Proyecto.

Como resultado de las discusiones, JICA y las autoridades cubanas acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos los aspectos referidos en el documento adjunto. Esta Acta de Discusión es considerada como un documento complementario del Registro de Discusiones firmado el mismo día.

Este texto fue redactado en idiomas inglés y español, siendo ambos textos igualmente auténticos. En caso de alguna divergencia de interpretación, prevalecerá la versión en Inglés.

La Habana, 23 de noviembre del 2007





Sr. Ramón Ripoll Díaz
Viceministro Primero
Ministerio para la Inversión
Extranjera y la Colaboración Económica
de la República de Cuba



Sr. Naoki KAMIJO
Jefe del Equipo del Estudio de
Implementación
Agencia de Cooperación Internacional de
Japón



Sr. Inocente Núñez Blanco
Viceministro
Ministerio de la Agricultura
de la República de Cuba

DOCUMENTO ADJUNTO AL ACTA DE DISCUSION

1. Título del Proyecto

El título será “Proyecto de Fortalecimiento del Sistema de Producción de Semillas Certificadas para el Arroz Popular en la República de Cuba”.

2. Matriz de Diseño del Proyecto (PDM) y Plan de Operaciones (PO)

El PDM y PO tentativos se adjuntan al Registro de Discusiones del Proyecto. Después que el primer experto japonés llegue al país y haya sostenido discusiones detalladas con el MINAG, se elaborarán las versiones definitivas, las cuales deberán ser sometidas y autorizadas en el Comité de Coordinación Conjunta.

3. Sistema de Inspección y Certificación de Semillas (SICS)

Dado que las semillas producidas por el Proyecto estarán sujetas a la inspección y certificación del SICS, se hace necesario que haya un vínculo efectivo y eficiente entre el SICS y el Proyecto.

4. Provisión de Insumos

Ambas partes proveerán, de manera compartida, fondos necesarios para la ejecución del Proyecto. Ciertos renglones no podrán ser abastecidos en moneda nacional, tales como combustible, equipos, insumos o repuestos importados al país, sin embargo, el MINAG se esforzará en la medida de lo posible, en gestionar su adquisición.

5. Gastos de Viaje

Con relación a los viajes oficiales de los expertos japoneses que serán asignados al Proyecto, el MINAG no podrá cubrir la totalidad de los gastos de alimentación y alojamiento, sin embargo, podrá disponer del almuerzo y el medio de transporte. Por otra parte, dispondrá la facilidad de transportación de la institución para el traslado de los expertos desde y hacia sus residencias.

6. Ubicación de la Oficina del Proyecto (IIArroz)

El MINAG instalará la Oficina del Proyecto dentro del IIArroz.

7. Solicitud de Experto (Formulario A-1)

El MINAG deberá enviar al Gobierno del Japón, a través del MINVEC, la solicitud formal de envío del primer experto japonés. Dicha solicitud debe ser enviada a más

tardar a finales de diciembre del 2007. Se deberá enviar una copia del A-1 a la Oficina de la JICA en México, a través de la experta en coordinación de programas de la JICA en Cuba.

8. Administración del Proyecto

Con relación a la designación del Director General del Proyecto, la misma está sujeta a la consulta con la Dirección del MINAG. La propuesta actual sobre este cargo es susceptible de modificación.

9. Privilegios de Exoneración de Impuestos

La Parte Cubana (MINVEC) verificó lo siguiente de acuerdo a las leyes y disposiciones legales vigentes en la República de Cuba:

- Un (1) experto, de conjunto con su familia, tendrá derecho a una (1) solicitud de exención de menajes de casa y artículos personales ante la Aduana General de la República de Cuba, la cual, una vez otorgada, podrá llevarse a efecto en tantos envíos como resulte necesario.
- La gestión para la importación de un (1) vehículo por experto, se lleva a cabo por separado y se realizará a través de la EMED.
- Si se solicita la adquisición del vehículo en territorio nacional, la EMED adquirirá el mismo en el Area In Bond libre de impuestos y efectuará la correspondiente importación.
- Los expertos que vengan por menos de 90 días no requieren la solicitud de carné de residente y permiso de trabajo.
- La solicitud de visa múltiple puede llevarse a cabo con el experto presente en Cuba, después de haber entrado con otro tipo de visa. Se reitera que este trámite debe realizarse con al menos 60 días de antelación a su otorgamiento. Este plazo es válido tanto para el caso mencionado, como para el caso en que la solicitud de visa múltiple se realice desde el exterior del país.

ANEXO 1. Matriz de Diseño del Proyecto (tentativa)

ANEXO 2. Plan de Operaciones (tentativo)

ANEXO 1

Matriz de Diseño del Proyecto (PDM)

23 de Noviembre del 2007
(Versión 1-7)

Título del Proyecto: Proyecto de Fortalecimiento del Sistema de Producción de Semillas Certificadas para el Arroz Popular
 Período del Proyecto: Tres (3) años
 Área meta: Cinco (5) provincias centrales
 Grupo meta: IIArroz, ETIA (Sancti Spiritus y Camaguey), UBPC, Productores líderes de semillas de CCS y CPA.

Resumen Narrativo	Indicadores objetivamente verificables	Medio de verificación	Suposiciones importantes
<p><u>Objetivo Global</u> Incremento de la producción nacional de arroz popular.</p>			
<p><u>Objetivo Superior</u> Los productores de Arroz Popular (pequeña escala) utilizan semillas de calidad.</p>	<p>% del área de Arroz Popular en las cinco provincias centrales que será sembrada con semillas certificadas II o semillas de alta calidad.</p>	<p>- Informe de producción de semillas de alta calidad.</p>	<p>-No ocurre ninguna epidemia. -Se mantiene adecuado manejo de fertilización. -Se mantiene el nivel técnico de producción propia de semillas.</p>
<p><u>Objetivo del Proyecto</u> Semillas registradas son distribuidas de acuerdo con el plan elaborado.</p>	<p>Volumen de semillas registradas de variedades atractivas para la producción de semillas certificadas distribuidas a UBPC, CCS, CPA y Productores de semillas en las 5 provincias al final del proyecto.</p>	<p>-Informe de producción de semillas. -Informe de estudios.</p>	<p>Se mantiene la política para estimular la producción del Arroz Popular.</p>
<p><u>Resultados</u> 1. Plan de producción y distribución de semillas registradas de variedades atractivas. 2. Aumento de producción y disponibilidad de semillas registradas. 3. Conocimiento necesario sobre las variedades es difundido.</p>	<p>1.1 Plan de producción y distribución de semillas registradas para las cinco provincias centrales de XX variedades es elaborado de acuerdo con la demanda de los productores de Arroz Popular.</p>	<p>1. Plan de producción y distribución de semillas registradas. 2. Evaluación técnica. -Informe estadístico -Estadísticas sobre la producción de semilla</p>	<p>-Se mantiene el precio de venta de las semillas a nivel apropiado. -El precio de venta del arroz no baja excesivamente. -Se mantiene la capacidad para transportar semillas.</p>

2.1 En el II Arroz se incrementará la producción de semilla original, básica y registrada, para las cinco provincias centrales hasta XX toneladas, al final del proyecto.

2.2 En las ETIAs se incrementará la producción de semilla básica y registrada, para las cinco provincias centrales hasta XX toneladas, al final del proyecto.

2.3 Semillas básicas y registradas de XX variedades, para las cinco provincias centrales, son inspeccionadas y certificadas por el Sistema de Inspección y Certificación de Semillas (SICS).

2.4 XX toneladas de semillas registradas de XX variedades son distribuidas a UBPC, CCS, CPA y Productores de semillas en las 5 provincias al final del proyecto.

3.1 Nivel de conocimiento sobre las variedades de arroz en las UBPC y Productores de semillas se mejora en los 5 provincias metas al final del proyecto.

3.2 Se realizan (XX) actividades de capacitación con las UBPC y los Productores de semillas, extensionistas e inspectores del SICS en las 5 provincias metas antes del final del proyecto.

3.3 Se distribuyen materiales de capacitación a UBPC, CCS, CPA, Productores de semillas, extensionistas e inspectores del

original, básicas y registrada

- Registro de SICS sobre la producción, inspección y certificación de semillas.
- 3. Entrevista técnica
- Registro de capacitación
- Registro de extensionista.
- Cuestionario.

<p><u>Actividades</u></p> <p>1.1. Estudio básico sobre la demanda de variedades.</p> <p>1.2. Elaborar plan de producción y distribución de las semillas registradas para producción de semillas certificadas, de acuerdo con la demanda de los productores de pequeña escala</p> <p>2.1 Estudio básico sobre la calidad de semillas registradas.</p> <p>2.2. Elaborar guía técnica sobre la producción de semillas registradas.</p> <p>2.3 Capacitación del personal de IIArroz (incluyendo ETIAs) A. Cosecha y pos-cosecha (semillas originales, básicas y registradas). B. Manejo de cultivo (semillas originales, básicas y registradas).</p> <p>2.4 Producir semillas originales, básicas y registradas de acuerdo con el plan elaborado.</p> <p>2.5 Distribuir las semillas registradas a UBPC y productores de semillas (CCS y CPA) de acuerdo con el plan elaborado.</p> <p>3.1 Elaborar información técnica sobre las variedades recomendadas por IIArroz.</p> <p>3.2 Capacitar y divulgar información sobre las variedades de recomendadas por IIArroz a las UBPC y productores de semillas (CCS y CPA), extensionistas e inspectores del SICS.</p>	<p>SICS en las 5 provincias antes del final del proyecto.</p> <p><u>Aportaciones</u></p> <p>Cuba</p> <p>-Contraparte</p> <p>-Oficinas</p> <p>-Vehículos existentes</p> <p>-Instalaciones existentes</p> <p>-Presupuesto para administración</p>	<p>Japón</p> <p>-Expertos</p> <p>-Equipos</p> <p>-Capacitación coordinada por JICA.</p>	<p>-Se mantiene la capacidad del tratamiento poscosecha.</p> <p>-No ocurre ningún desastre natural.</p>
<p>Condiciones previas</p> <p>El Sistema de Inspección y Certificación de Semillas (SICS) trabaja en coordinación con el proyecto.</p>			

